

2025 秋の講演会・懇親会 を開催しました

令和7年11月28日（金）、同窓会札幌支部主催、室蘭工業大学 MONO づくりみらい共創機構及び水元技術士会の後援で、恒例となっております、秋の講演会を開催しました。

当日は、札幌市内のホテル札幌ガーデンパレスを会場に、18時から対面、オンラインを合わせ、57名の出席があり、東京 EEC の小助川会長をはじめ、道外の同窓生にも視聴いただきました。

講演会終了後は、19時から対面参加者による懇親会を開催し、盛会となりました。

1. 講演会

平成21（2009）年10月から本学に着任され、現在は、航空宇宙機システム研究センターでご活躍されている中田大将准教授から「航空宇宙産業の裾野を広げる白老実験場のフィールド研究」と題して、航空宇宙機センターの沿革や、白老実験場での研究などについてご紹介いただきました。

白老実験場は、800m滑走路と、300m新幹線軌道を併設する国内でも最先端の実験施設で、現在学内で研究が進められている自動飛行する無人航空機や高速無人機オオワシについて、わかりやすくご説明いただきました。



講師：中田大将准教授



このほか、新幹線軌道上に置かれた台車をロケットエンジンで加速し、最高時速 400 km で走行させるロケットスレッドを使用した JAXA の実験など、全国から多くの大学や民間企業が白老実験場において研究を行っていることについて知見を深めることができました。

さらには、室蘭栄高校など、地元の高中生や小学生を招き、ロケットスレッドにアンパンマンを搭載し、時速 240 km で走らせる見学実演を実施し、ロケットエンジンを間近に見ることができるデモンストレーションも行って

おり、全国で一番素晴らしい環境で航空宇宙を学べる場が室蘭にあるということや、実験場周辺の自然との闘い（鹿、キツネ、スズメバチなど）にご苦労されているとのお話も伺いました。



中田准教授は動画も駆使し、ソフトな語り口で、ユーモアを交えながら、多くの同窓生に支えられ、室工大の母校愛を感じていることや、実現象に教員と学生が共に困難に立ち向かっていくことが大学教育の理想像であり、今後も同窓生の強力なサポートをお願いしたいと述べられ、講演会は終了しました。



2. 懇親会

講演会に続き、当日、体調不良等で急遽欠席となった2名を除く、対面出席者50名が参加し懇親会を開催しました。

中村札幌支部長の開式の辞に続き、高宮則夫同窓会長、講師の中田大将准教授のご挨拶、吉成哲室蘭工業大学 MONO づくりみらい共創機構副機構長の乾杯のご発声で賑やかに開催されました。



高宮会長ご挨拶

吉成副機構長ご発声

会場では、中田先生を囲んで研究でのご苦労などのお話に花が咲き、このほか同窓生が旧交を温めるなど、寸暇を惜しんでの歓談となりました。

最後は、河村副支部長から、これから一緒に取り組むことができると思った出席者も多いのではないかと期待も込め、一丁締めでお開きとなりました。



講演いただいた中田准教授、講師の推薦、派遣などにご尽力いただいた吉成副機構長に厚くお礼申し上げます。

札幌支部事務局長 伴野純一（土木 S61 年卒 豊松吉工業株式会社勤務）

E-mail: junichi.banno.2024@gmail.com